

# みやぎ・復興の歩み 9

NOW IS. ~「いま」を見つめて~

2011.3.11 ~ 2020.3.11

この冊子は、東日本大震災からこれまでの宮城の復興の様子と震災復興情報発信プロジェクトNOW IS.で展開した記事をまとめたものです。

## Contents

知事あいさつ	02	みやぎの復興の歩み 2011.3~2020.3	19
東日本大震災の概況	03	宮城県への支援状況／被災者支援情報	22
宮城県震災復興計画	05	情報発信の取組	23
復興の進捗状況	06	震災の記憶の風化防止・伝承施設	29
地域の復興状況(気仙沼・本吉エリア)	13		
地域の復興状況(石巻エリア)	15		
地域の復興状況(仙台沿岸エリア)	17		

## 知事あいさつ

東日本大震災から9年が経過しました。この間、国内外の皆さまから賜りました多大なるご支援、ご協力に改めて感謝申し上げます。

元号が改まり、新しい時代を迎えた令和元年度は、復興に向けた様々な事業が完了を迎えた年でもありました。

復興のシンボルとして整備を進めてきた「気仙沼大島大橋」の開通をはじめ、新たな商業施設や複合施設がオープンするなど、沿岸各地では徐々に震災前の賑わいを取り戻しつつあります。また、仙台沿岸部では、全長10.2kmのかさ上げ道路「東部復興道路」が開通したほか、内陸と沿岸を結ぶ幹線道路等の整備が県内各地で進められるなど、災害に強いまちづくりが行われています。

一方で、近年は大規模な災害が全国で相次いでおり、昨年10月に発生した「令和元年東日本台風」では、宮城県においても内陸部を中心に甚大な被害が発生し、改めて災害に強い県土づくりの重要性を認識いたしました。従来の想定を超える災害においても、誰もが自分の命を守る行動が出来るよう、東日本大震災の経験を踏まえた教訓の発信・伝承にしっかりと取り組んでまいります。

令和2年度は、宮城県震災復興計画期間の最終年度であり、復興五輪を冠した東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される年でもあります。皆様からいただいた多くのご支援に対し、感謝を伝える絶好の機会と捉え、新たな魅力、生まれ変わった宮城を発信するとともに、復興に向けて全力で取り組んでまいります。

「みやぎ・復興の歩み9」は、東日本大震災の発災から復興に向けた9年間の各地の取組とその経過、現在の復興状況等をまとめたものです。復興の総仕上げに向けて取り組む宮城の姿をご覧ください。



宮城県知事  
村井嘉浩